



介護サービス包括型
グループホーム
地域生活体験室

遊牧舎

共同生活援助事業
(介護サービス包括型)

自分らしい生き方を
いっしょに考えます



20年かけて築いた大切なもの

新型コロナウイルスの影響で、軒並み中止になっていたイベントですが、前年度は平井公園でのお祭り「ひらこ大好き!フェスタ」が開催されました。地域の方からお声掛けいただき、準備・企画から携わらせていただきました。地域の方々が集まり、こうしたら楽しいんじゃないか、こんなことがやりたい、と賑やかに意見を交わす。そんな打ち合わせに楽しく参加させてもらいました。少しでも遊牧舎のことを知ってもらえるよう、日頃から地域に溶け込むために地道な取り組みを続け、やっと自然なお付き合いができてきたのかなあと、思えました。地域を盛り上げようとしている方々の中に遊牧舎が受け入れていただけるまでの20年はあつという間でした。

精神に障害をお持ちの方は、再発してしまうことや体調がすぐれず、地域にご迷惑をおかけすることもあります。グループホームが“地域住民”としての利用者の方の生活を支えるためには、近隣住民のご理解は欠かせません。当初は、すでにできている輪の中に障害者団体が入ることを受け入れてくれなかったら、余計この地域で暮らしにくくしてしまうのかなど、自分たちがどのような存在として見られているのかという不安もありました。

今では支援者としてではなく同じ地域住民として同じ属す「生活者としてのわたしたち」を受け入れていただき、敷居の低い方法で障害理解の啓発を展開できる地域活動に、価値や意義を感じております。

イベントは利用者も企画側として参加しましたが、新たな活躍の場ができたと同時に、地域住民としてのつながりを感じていただけたと思います。私たちにとっても、利用者の新たな一面を見つけた貴重な時間となりました。今後も、微力ながら地域の方々からも愛される存在に近づき、お世話になっている地域へ還元していきたいです。